

増税もうムリ！インボイスはいらんがね！！

税金は戦争の準備でなく、暮らし、福祉のために インボイスは廃止させよう

7月28日(日)午後、「税金から平和を考えるシンポジウム」(「消費税をやめさせる愛知連絡会」と「インボイスいらんがね実行委員会」の共催)が開催され、150余名が参加しました。第一部では、「大軍拡・大增税～身近に迫る負担と危険」と題して、愛知平和委員会の矢野創さんが講演。アメリカからの兵器ローンが2023年度は1兆4768億円と過去最高の2倍となっていること、軍拡財源確保法として結局は消費税の増税が狙われていることなど分かりやすく話していただきました。「消費税なくす会」の岸野知子さん(進行役)は「平和の道へ進むのか、戦争の道に踏み込むのか、税金の使い方未来が変わります」「平和でこそ、暮らしも商売も守ることができる」と話しました。第二部には、「STOPインボイス!フリーランスの会」発起人の小泉なつみさん、愛知の会の廣瀬さん、生田さんが登場し、トークセッション。小泉さんは、これまでの生い立ちを振り返りながら、インボイスのことを知った時の衝撃やネットで全商連を知り、すぐに連絡を取ったこと、その後の運動の経過について、率直な思いも交えて話されました。オンライン署名を立ち上げたときは、財務省、国税庁あてに出すことに対し、「怖くなりその日は布団をかぶって震えていた」と。廣瀬さんや、生田さんは、インボイスのことを知ってショックを受けたときに、小泉さんとネットでつながり、「インボイス一揆」「日比谷野音集会」など、さまざまな活動と一緒に取り組んできたことを語りました。



終了後は、50人ほどが、コールしたり、チラシを配ったりしてアピール。北部民商の参加者18人も大半が参加。「インボイスのことを書いたチラシです」と声をかけながら配ると、向こうから取りに来る人も。参加者からは「運動はひとりから、との言葉が心に残った」「受け身ではなく、自分で考えることが大切だと思った」「軍事費のことなどとても勉強になって参加してよかった」「インボイスを止めないと、そのうち強制されるのではと恐ろしくなった」「民商運動の原点を思い返した」など、たくさんの感想が聞かれました。

名古屋北法律事務所出張法律相談

8月以降の予定
(来年4月まで決まっていますが当面12月までの日程)

8月28日・9月25日・10月23日・11月27日
12月25日

○ 毎月第4水曜日の午後2時～4時
場所はいずれも 民商3階会議室

〈担当〉伊藤勤也弁護士



相談を希望される方は、民商へ
連絡して予約してください
(相談料 無料)

民商の夏季休業について (お知らせ)

8月13日(火)～16日(金)まで事務所を
閉所させていただきます。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

税務署から「収支内訳書」の督促が

「書類の提出について」という文書が税務署から送られてきたが、との問い合わせが増えています。そのほとんどは、収支内訳書の提出を求めるものです。収支内訳書の提出や収入金額の記載は義務ではありません。毎年行っている税務署交渉においても「収支内訳書の未提出をもって調査になるなどの、不利益をこうむることはない」と回答を得ています。